

ぐっと **GOOD** 身近な ふくしの情報お届け便

社協だより

7 2024年
月号

[第428号]

出会いと交流の場づくり

らく らく
ふらっと **raku raku** あーと

~Me・みんぐる(わたし・みんな・まざりあう)~

*詳細はP7に



特集

災害時の社協ができること

災害時の社協ができること

令和6年能登半島地震が発生して半年以上が経過しました。広範囲に渡る被害と立地条件により長期の支援が必要となっています。その中でも中長期で求められるのが災害ボランティアの活動です。

今回はその災害ボランティアの調整を担うことになる社協の役割についてご紹介します。

自然災害発生時において社協には「ネットワークを活かした支援体制」、「当事者の地域での暮らしを支える」、「被災地域主体のまちづくり活動を支援」の3つの役割があります。

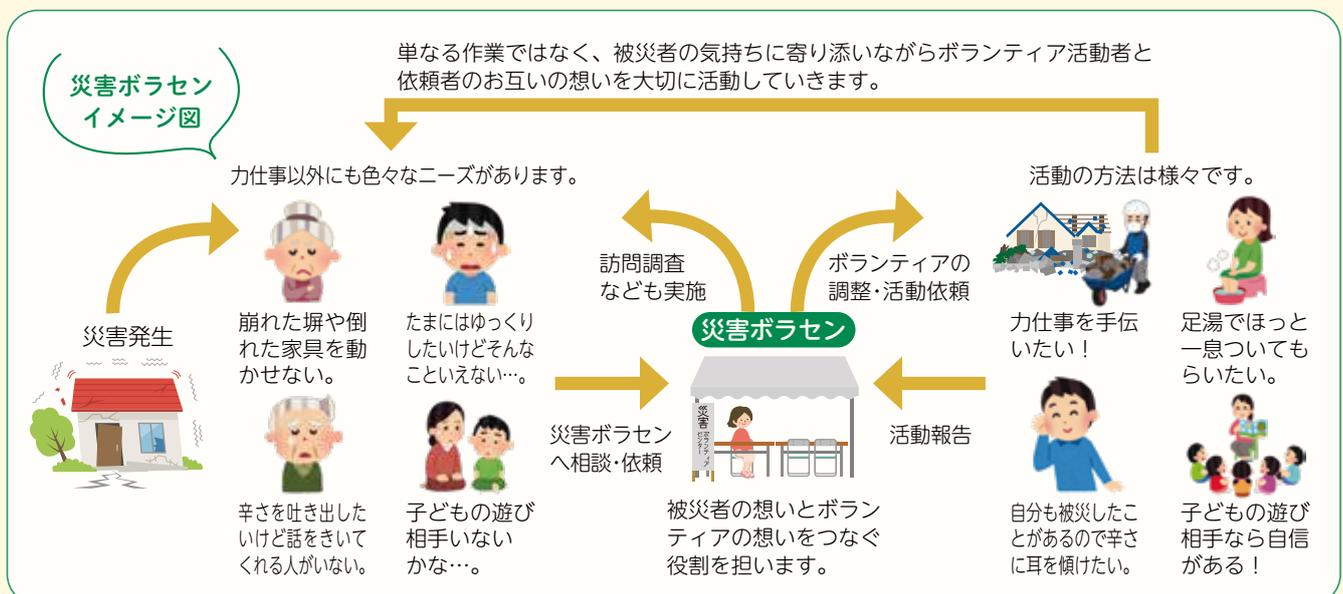
三田市においては、自然災害発生時応急対策におけるボランティア活動について三田市災害対策本部救護班及び福祉班と協働し、三田市社協・三田市ボランティア活動センターが中心となり取り組むことが「三田市地域防災計画」に記載されています。



● 災害ボランティアセンターとは

災害が発生し、必要となった場合には「三田市地域防災計画」に基づいて災害ボランティアセンターが設置されます。三田市との協定により社協は災害ボランティアセンターの開設・運営を担っています。

災害ボランティアセンター（以下、「災害ボラセン」）では、災害により生じる被災者ニーズ（復旧や生活の支援、心の支えを求める気持ち等）をキャッチし、「被災された方を支援したい」という思いをもって被災地に駆けつけた方の力を被災者のニーズと結びつけ、コーディネートを行います。



● 三田市社協の取り組み

職員派遣・支援

能登半島地震では七尾市の災害ボラセンの運営支援に5月末までに2名の職員派遣、また6月に7名の職員が被災地支援を実施しました。



七尾市災害ボランティアセンターでの支援の様子

災害研修

災害ボラセンの運営に向けて、職員研修を実施しています。



ボランティアバス派遣

三田市在住、在学、在勤の方を中心に募集し、被災地へ災害ボランティアバスの派遣を行うこともあります。



西日本豪雨で岡山県へバス派遣

普段からのかかわりを大切に

災害時には多くの問題や課題がでてきます。しかしこれらの問題は災害によって急に出来たわけではなく、水面下に隠れていた問題が災害をきっかけに一気に表出するといわれています。

日頃から自分自身も含めた近隣の課題に関心を向け、平時からつながりをつくるのが災害時の取り組みの第一歩となります。三田市においても地域住民が居場所作りを行うなど、住み慣れた地域で元気に生きがいをもって生活できるように様々な活動が行われています。

災害時になにができるのかと思っている方でも、つながりづくりのために近隣のサロンへ参加する、気になる方へ声かけしてみる、ボランティア活動に参加してみる…。そんなところからはじめてみませんか？



地域での居場所 オアシスやよい(写真左)、ほっこり広野(写真右)

ボランティアとの連携

三田ボランティア連絡会を中心に、ボランティア活動者と災害時の市内活動者の対応について検討を行っています。ボランティア連絡会も災害時を想定した研修を行っており、有事の際には災害ボラセンの運営についての協力を依頼することになっています。



ボランティア連絡会の災害研修



活動者の交流会



ボランティアグループによるかき氷の提供
(西日本豪雨の現地ボラセンにて)



[問合せ先] ボランティア活動センター TEL:079-564-0410



三田市総合福祉 保健センターの ご紹介

三田市社協PR大使



さんだ愛の妖精
さっちゃん

三田市総合福祉保健センターとは…

- 地域福祉活動の推進や高齢者福祉の実施、健康づくりなど福祉と保健の連携した総合施設として平成8年4月に開所
 - 平成18年より三田市社会福祉協議会が指定管理者に
- 【開館時間】 午前9時～午後9時（年末年始を除く）
【住所】 三田市川除675番地 【TEL】 079-559-5700

PICK UP 貸会議室を備えています

- 全11室（多目的ホールを含む）
- 各種会議、講演会の他、体操の会や映画上映イベント、吹奏楽の練習会など多種多様にご利用いただけます。（一部利用に制限あり）



第1会議室



多目的ホール



- * 午後6時以降は比較的空いている時間がございますのでぜひご利用ください。
- * 30分150円から使えるスペースもあります。* 午前9時～午後9時まで使用できます。



詳しくはこちらから▶

PICK UP ユニバーサルデザインを取り入れています

- ユニバーサルデザインとは、だれもが利用しやすいデザイン
- 館内表示として誘導ソフトマットやデジタルサイネージ
- 視覚障害者向けの音声認識ガイドシステム「シグナルエイド」
- 多様な方が利用できる多目的トイレ
- オムツ交換などができるスペース「赤ちゃんの駅」などを設置しています。

出張ふくし教室ではユニバーサルデザイン見学ツアーも行っております。詳しくはこちらから出張ふくし教室のチラシを参照ください▶



デジタルサイネージ



赤ちゃんの駅

PICK UP

福祉避難所としての役割があります！



福祉避難所

障害のある人や要介護者など、心身に何らかの支援を必要とする人を受け入れる避難所です。

警戒レベル3「高齢者等避難」の発令時に開設され、自宅等から福祉避難所に直接避難ができます。



PICK UP

さんだクールステーションを開設！

今年も7月1日～
9月30日開設(予定)

暑さで体調が悪くなったときや、体調が悪くならないための予防に、涼しい公共施設でひと休み。

冷房設備のある公共施設を利用し、暑さや日差しを避けて涼むことができる休憩スペースです。



ほのぼののカレンダー 挿絵募集中!



[締切]
8月5日(月)
必着

ほのぼののカレンダーとは?

赤い羽根共同募金配分金事業の一環として、年末に民生委員・児童委員の皆さまが、ひとり暮らし高齢者等を訪問する際に持参されるカレンダーです。訪問活動を通して、地域内の日常的なつながりを深めることを目的としており、令和5年度は約5,000人にお渡しをしています。

多くの方に福祉(地域での見守り・つながりづくり・共生社会)をより身近なものに感じてもらい、関心を持っていただく機会とすることを目的として、カレンダーに掲載する挿絵を広く一般に募集します。

テーマは「ほのぼの」

「さんのいいところ」「さんのすきなところ」を自由に描いて下さい。

(景色、自然、街並、歴史、学校、名産品、食べ物、人、行事、思い出等)

※昨年度の応募状況:85作品



特典があります!!

[入選者(12名)]

(1) 市内公共・商業施設での展示

～昨年度の展示場所～

- トヨタカローラ神戸株式会社 三田店
- ネットトヨタ神戸株式会社 ネットテラス新三田
- 生活協同組合コープこうべ コープ三田西
- イオン三田ウッディタウン店
- 三田市総合福祉保健センター
- 藍市民センター ●多世代交流館ふらっと

(2) 赤い羽根共同募金 募金百貨店プロジェクトの商品贈呈

応募者(全員)

- *三田市総合福祉保健センターでの展示 [8/14(水)~8/30(金)予定]
- *さっちゃんオリジナルグッズ贈呈



▲展示会の様子

選考方法

(1) 一次選考

- 三田市総合福祉保健センター及びオンラインでの投票

(2) 最終選考

- 投票結果をふまえ、内部審査にて12作品を決定

詳細は、社協ホームページ、またはQRコードにアクセスして下さい。



「地域とともに歩む」 地域福祉支援員の活動を紹介します！



地域福祉支援員ってどんなことをしているの？

地域福祉支援員は、地域のさまざまな困りごとの解決方法を一緒に考えたり、「地域でなにかできないか！」という想いをつなぐなど、住民の皆さんと描く「誰もが安心して暮らす共生の地域」の実現に向けて活動を行っています。

今回は藍地域福祉支援室より、
取り組みの一部を紹介します。

NPO法人と地域の つながりづくり



連携の
流れ



■ 取り組みのきっかけ

藍地区にある障害者事業所「NPO 法人オフコース（以下オフコース）」から、地域貢献をしたいとの相談を受け、どのような形で地域とつながる機会を持つことができるのか検討を進めていました。

【オフコース理事長 村井さんの想い】

事業所がある地域とつながりを持ち、その地域のことを応援（地域貢献）したいというも思っていました。そして、そのつながりを通して、オフコースのこと、事業所に来ている方のことをもっと知ってもらい、お互いに理解し合える関係が築ければと思っています。また、地域の方や小学校の子どもたちと一緒にお菓子づくりをしたり、イベントなどに参加したりするなど、さまざまな活動を一緒にできればと思っています。



▲ NPO 法人オフコース

■ 地域福祉支援員の関わり

まず、オフコースと地域がつながる機会の第一歩として、地域活動等へ場所を提供してもらえないか村井さんへ相談をしました。また、介護者が悩みなどを話せる場づくりを考えていた藍地域包括支援センター（高齢者・家族の相談窓口）へ、介護者同士がつながる機会（地域内交流）をオフコースの事業所「ホットステーション」で実施しないか提案しました。

その結果、オフコースが地域とつながるきっかけづくりと、地域内交流の機会として、藍地域包括支援センター・社会福祉法人三翠会・藍地域福祉支援室の協働で、「介護者のつどい」を開催することが決まりました。また、地域福祉支援員から声掛けをして、先輩介護者のアドバイザー兼参加者として、介護をしながら地域活動でも活躍されていた方に参加いただくことになりました。

今後はさらに、地域内の交流が活発になるように、オフコースを中心として、まちづくり協議会や民生委員・児童委員、学校など、地域の様々な団体とも連携して、住民同士が出会える場が広がるような活動を応援していきたいと思えます。



▲ 介護者のつどい当日



◀ 三田市社協地域福祉係が地域活動のお役立ち情報を発信する「LINE 公式アカウント」
ができました！ぜひご登録ください♪

各地域福祉支援室の問い合わせ先はこちら（三田市社協 HP）をご覧ください。▶





出会いと交流の場づくり

らく らく

ふらっと raku raku あーと

～Me・みんぐる(わたし・みんな・まざりあう)～

※みんぐるとは「Mingle」=交わる、多様なものが混ざること
を意味しています。



「今だけ」「ここだけ」「誰でも」
「ひとりでも」「みんなで」…だから楽しい!

三田市多世代交流館 ふらっと シニア・ユースひろばでは、子どもや地域福祉活動者、障害当事者、ボランティア活動者など多様な人がいっしょに活動し、混ざり合い、誰もが「活きる」場となることを目指し、「共生の居場所づくり」を進めています。



▲デモンストレーションの様子。通りがかりの方も足をとめ、子どもたちの「描きたい!」の声が聞かれました。

今では難しくなりましたが、幼いころに地面にチョークなどで大きな絵を描いて、夢中になったことはありませんか?

2024年度、シニア・ユースひろばでは「ふらっと raku raku あーと」を企画。シニア・ユースひろばの窓ガラスをキャンバスとして、参加者が思い思いに「楽書(らくがき)」をして楽しみながら、互いの違いを認めあい、「楽書(らくがき)」を見る人も楽しい気持ちになるイベントを開催します。

「今だけ」「ここだけ」「誰でも」「ひとりでも」
「みんなで」…だから楽しい!
ぜひご参加ください!



2024年 夏休みに
開催します!

夏休み「ふらっと raku raku あーと」

- 【場 所】 三田市多世代交流館 ふらっと シニア・ユースひろば
- 【対 象】 どなたでも(15組程度) *小学生未満は保護者同伴
- 【実施日】 7月20日(土) 10時30分～11時30分 【費用】 無料
- 【申込期間】 7月2日(火)～7月19日(金) *先着順
- 【申込先】 三田市多世代交流館 ふらっと シニア・ユースひろば
TEL:079-562-8423
Eメール:tasedai@sanda-shakyo.or.jp

*筆記具は、2023年24時間テレビ46で紹介された、米ぬかを材料としたクレヨンのようなチョーク「キットパス」を使用。工場では全体で70%以上が知的障害のある社員が勤務。筆圧の弱い年少者や高齢者、障害者に優しく、水で濡らした布で消すことができます。



🍷 温かい善意ありがとうございました。

(4月1日～5月31日分)【三田市善意銀行】敬称略

日付	金額・物品	預託者名	備考
4.1	5,000円	フラワー地域福祉支援室 設置の善意の箱	
4.4	155円	高平ふるさと交流センター 設置の善意の箱	
4.9	30,000円	本門仏立宗阪神布教区 「福祉の輪をひろげる会」事務局	
4.9	5,228円	小野高平地域福祉支援室 設置の善意の箱	
4.19	5,000円	デンジマン	
4.21	2,000円	2024.1.1	
4.24	3,000円	五代雄介	ライダー同窓会一同
4.25	10,000円	今北千恵子	
4.25	10,000円	有限会社エコフィールド	
4.30	吸収マット、 ウェットタオル	匿名	
5.1	紙おむつ	匿名	

日付	金額・物品	預託者名	備考
5.1	5,000円	フラワー地域福祉支援室 設置の善意の箱	
5.7	1,483円	匿名	
5.8	500,000円	匿名	生活に困窮している 世帯の子どもたちへ
5.10	1,777円	三田市ゲートボール協会	
5.14	2,000円	2024.1.1	
5.14	10,000円	匿名	
5.17	ふきとり布、新しいタオル、 ミニバスタオル	加茂ボランティア	
5.18	5,000円	デンジマン	
5.23	10,000円	今北千恵子	
5.27	3,000円	野上良太郎	同窓会一同より
5.31	10,000円	有限会社エコフィールド	

補聴器相談(予約不要)

第2・4水曜日(7月) 第2水曜日(8月以降)
7月10日(水)・24日(水)、8月14日(水)
10時～12時 ※祝日除く

連絡先 総合福祉保健センター受付
TEL 079-559-5700 ※9時～17時

権利擁護専門相談会(予約制 前日16時まで)

月2回 第1・3木曜日に開催 ※1回あたり45分 ※祝日除く
7月 4日(木)、8月 1日(木) 13時15分～16時 弁護士・社会福祉士 など
7月18日(木)、8月15日(木) 13時15分～16時 司法書士・社会福祉士 など

連絡先 三田市権利擁護・成年後見支援センター
TEL 079-550-9004

令和6年能登半島地震災害義援金にご協力いただいた皆様 (4月1日～5月31日分)(順不同、敬称略)

令和6年5月31日までに合計1,524,619円のご協力をいただきました。

さくらんぼ三田、社会福祉法人 三翠会、サンディパークス自治会、緑の環境クラブ、トーカンマンション 多世代交流サロン、
花のじゅうたん、匿名2件



おとなのひきこもり
家族のつどい「らくに」

申込
フォーム▼



日時 令和6年7月17日(水)13時30分～15時
ゲスト 『はじまりの街』世話人 黒ひげ☆さん
場所 三田市総合福祉保健センター 1階 第2会議室
(川除675)
参加費 無料
対象 ひきこもり当事者家族または元ひきこもり当事者
家族(匿名での参加可)
申込み 7月12日(金)までに電話、FAX、メールで下記まで。
または申込みフォームより。

ひきこもり支援に関する
講演会(+交流会)

申込
フォーム▼



日時 令和6年8月24日(土)14時～16時
講師 Office Sabby 代表(心理カウンセラー)
貞本範之 氏
場所 三田市総合福祉保健センター 1階 多目的ホール
(川除675)
参加費 無料
申込み 8月21日(水)までに電話、FAX、メールで下記まで。
または申込みフォームより。
※手話通訳・要約筆記が必要な場合は8月13日(火)まで

【問合せ先】三田市生活安心サポートセンター
TEL:079-550-9081 FAX:079-559-5704 Eメール:kenri@sanda-shakyo.or.jp

さんだファミリーサポートセンター体験保育「ドレミ」

ファミリーサポートセンターの協会員に子どもを預けてみませんか?
リフレッシュしたい方、入会登録を検討されている方など、気軽に参加してください。

日時 7月17日(水)10時～12時 場所 三田市総合福祉保健センター 第1・2会議室
定員 6人 利用料 子ども1人につき500円 対象 [保護者]市内在住、在勤の方 [子ども]6か月から就園前の子ども
申込方法 7月10日(水)までに、保護者、子どもの名前と年齢、住所、電話番号を明記し
FAXまたはEメール(FAX:079-562-8424 Eメール:famisapo@sanda-shakyo.or.jp)

【問合せ先】さんだファミリーサポートセンター TEL:079-559-8996



お詫びと
訂正

2024年5月1日に発行いたしました本誌2024年 誤)三田市交流委員会 正)三田市国際交流協会
5月号(第427号)P7におきまして誤りがありました。 誤)令和3年 正)令和4年
読者ならびに関係者の皆さまにご迷惑をお掛けしましたこととお詫びするとともに、訂正させていただきます。



Eメール info@sanda-shakyo.or.jp
ホームページ http://www.sanda-shakyo.or.jp/
三田市協会の保有している個人情報(当会個人情報は保護管理)は、
適切に管理し、無断で外部に提供することはありません。



〒670-1504 兵庫県三田市川除675番地 三田市社会福祉協議会センター内
おかけ間違いにご注意ください。
079-559-5940 FAX 079-559-5704

